

補足資料〈安全上のご注意〉

- ・この度は、当社製品をご採用いただき、ありがとうございます。
 - ・この補足資料〈安全上のご注意〉は、DCサーボモータに適用します。
 - ・ご使用前に、この取扱説明書を熟読して、正しい取扱いをしていただき、機器の機能を十分に発揮させてください。
- また、この取扱説明書は、最終的に本製品をお使いになる方のお手元に確実に届けられるよう、お取り計らい願います。

一 般 注 意 事 項


- ・取扱説明書に掲載している図解は、細部を説明するために、カバーまたは安全のための遮へい物を取り外した状態で描かれている場合があります。この製品を運転するときは、必ず規定どおりのカバーや遮へい物を元どおりに戻し、この取扱説明書に従って運転してください。
- ・取扱説明書に掲載している図および写真は、代表事例であり、お届けした製品と異なる場合があります。
- ・取扱説明書は、製品の改良や仕様変更、および取扱説明書自身の使いやすさの向上のために適宜変更することがあります。
この変更は、取扱説明書の資料番号を更新し、改訂版として発行します。
- ・損傷や紛失などにより、取扱説明書を注文される場合は、当社代理店または裏表紙に記載している最寄りの当社営業所に、表紙の資料番号を連絡してください。
- ・お客様による製品の改造は、当社の保証範囲外ですので、責任を負いません。


安全上のご注意


ご使用前に、必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。


この取扱説明書では、安全に関する内容により、下記のシンボルマークを使用しています。


 **危険** : 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

 **注意** : 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

・禁止、強制の絵表示とその説明を次に示します。

 **禁止** : 禁止（してはいけないこと）を示します。

 **強制** : 強制（必ずしなければならないこと）を示します。

1. 使用上のご注意

⚠ 危険

感電、けがのおそれがありますので、次のことを必ず守ってください。

- ・サーボパックおよびモータのアース端子（アース端子がない場合はフレームなどの金属部分）は、電気設備技術基準に従い接地してください。接地が不十分ですと、感電するおそれがあります。
- ・配線・点検は電源をオフして5分後に行ってください。感電するおそれがあります。
- ・ケーブルは傷つけたり、無理なストレスをかけたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。ケーブルを傷つけたりすると、感電するおそれがあります。
- ・運転中、モータの回転部には絶対に触れないようにしてください。回転中に触れると、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- ・水のかかる場所や、腐食性の雰囲気、引火性のガスの雰囲気、可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。火災、故障発生の原因となります。
- ・次のような取り付け環境でご使用願います。
 - ・屋内で腐食性または爆発性のガスのない所。
 - ・風通しがよく、ほこり、ごみや湿気のない所。
 - ・周囲温度が「0～40℃」の範囲の所。
 - ・湿度は「20～80%RH」で、結露しない所。
 - ・点検や清掃のしやすい所。また、多量の水滴、油滴のかかる用途に使用する場合は、水滴、油滴よけのカバーを付けるなどの対策を施してください。多少の飛まつに対しては、モータ側で行っている処置により保護できます。
- ・通電中や電源オフ後、しばらくの間は、サーボパックの放熱器、回生抵抗器、モータおよび周辺機器などに触れないでください。高温により、やけどするおそれがあります。

2. 保管

⊘ 禁止

- ・雨や水滴のかかる場所、有害なガスや液体のある場所では保管しないでください。

❶ 強 制

- ・日光の直接当たらない場所や、決められた温湿度範囲内（-10℃～+40℃、20～80%RH）で保管してください。
- ・保管が長期間にわたった場合は、当社代理店または当社営業部門にお問い合わせください。

3. 運 搬

⚠ 注 意

- ・ケーブルやモータ軸を持って運搬しないでください。
製品が故障したり、けがをするおそれがあります。
- ・製品の過積載は荷崩れの原因になりますので注意してください。
けがをするおそれがあります。

❶ 強 制

- ・モータの吊りボルトは、モータの運搬だけに使用してください。機械の運搬には使用しないこと。

4. 据え付け

⚠ 注 意

- ・モータの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
けがをするおそれがあります。
- ・吸排気口をふさいだり、異物が入らないようにしてください。
火災が発生するおそれがあります。
- ・強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。
- ・回転部に触れないようカバーなどを設けてください。
けがのおそれがあります。
- ・モータへの追加加工は、絶対にしないでください。
- ・モータは水平方向・垂直方向のいずれに取り付けても構いませんが、以下の場合は取付け方向が制限されますので、注意してください。
 - ・DCサーボモータF，Jシリーズを出力軸下向きに取り付ける場合は、当社にお問い合わせください。
 - ・オイルシール付きモータの場合は、出力軸上向きの取り付けはできません。
 - ・減速機付きモータの場合は、取り付け方向が制限される機種がありますので、該当する技術資料を参照してください。

5. 配線

⚠ 注意

- ・配線は接続図に従って確実に行ってください。
モータの暴走の原因となり、けがをすることがあります。

6. 操作・運転

⚠ 注意

- ・試運転はモータを固定し、機械系と切り離れた状態で動作確認後、機械に取り付けてください。
けがのおそれがあります。
- ・保持ブレーキは、機械の安全を確保するための停止装置ではありません。機械側に安全を確保するための停止装置を設置してください。
けがのおそれがあります。
- ・アラーム発生時は原因を取り除き、安全を確保してから、アラームリセット後、再運転してください。
けがのおそれがあります。
- ・停電したときは電源を切ってください。
突然の再始動により、けがのおそれがあります。

⊘ 禁止

- ・モータに組み込むブレーキは、保持用ですので、通常の制動には使用しないでください。

❗ 強制

- ・即時に運転停止し、電源をオフできるように、外部に非常停止回路を設置してください。

7. 保守・点検

⊘ 禁止

- ・専門の技術者以外の方は、分解修理を行わないでください。

お問い合わせは

この資料の内容についてのお問い合わせは、お近くの代理店にご相談ください。
もし代理店でお分かりにならないときは、下記の営業部門にお尋ねください。

製造・販売元



ニデックテクノモータ株式会社

販売

東京オフィス

〒141-0032 東京都品川区大崎1-20-13
日本電産東京ビル北館4階
TEL(03)5434-5731 FAX(03)5434-5733

大阪オフィス

〒530-0004
大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28
堂島アクセスビル10階
TEL(06)6346-0551 FAX(06)6346-0553

名古屋オフィス

〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南1-21-19
名駅サウスサイドスクエア12階
TEL(052)586-8741 FAX(052)586-8742

九州オフィス

〒820-0061 福岡県飯塚市吉北31番地
(九州技術開発センター内)
TEL(0948)24-7934 FAX(0948)24-7942

製造

九州技術開発センター

〒820-0061 福岡県飯塚市吉北31番地
TEL(0948)24-7600 FAX(0948)24-7812

※ 本製品の最終使用者が軍事関係であったり、用途が兵器などの製造用である場合には、「外国為替及び外国貿易管理法」の定める輸出規制の対象となることがありますので、輸出される際には十分な審査及び必要な輸出手続きをお取りください。

※ 製品改良のため、定格、仕様、寸法などの一部を予告なしに変更することがあります。